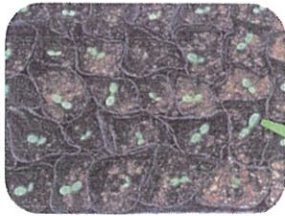


令和4年度

「人権の花」 育成記録

周南市立桜木小学校

本校では、「人権の花」として、4年生児童が中心となりマリーゴールド・ポーチュカ・百日草・サルビアを植えました。みんなで責任や愛情をもって大切に育てました。「人権の花」を通して、協力することの大切さ、命を大切にする心、相手を思いやる心を学ぶことができました。



種から育てることは今まであまり経験がなく、十日後に芽が出たことを知ると、「すごい!」「小さくてかわいい」などと喜んでいました。

ポットに育った花の苗を花壇に移植しました。慎重に心を込めて植えました。

毎日欠かさず、水やりをしました。
総合的な学習の時間や掃除の時間を利用して、草抜きをしました。



すてきな花が咲くと、より一層お世話に力が入りました。4年生はお気に入りの一輪を絵に描き、それぞれの思いを詩で表しました。



桜木小学校のチャレンジ目標の一つに、「みんなで楽しく花づくり」があります。毎年、たてわり班に分かれプランターで花を育てています。今年は感染症対策として、学年ごとに土作りや苗植え、プラカード作り等の分担をして取り組みました。一人ひとりが自分の役割に責任をもち、すばらしい花を咲かすことができました。これからも花づくりを通して、命あるものを大切にする思いやりの心が育つことを期待し、活動が続けていきたいと思っています。